

平成30(2018)年度入学者選抜の変更点等(抜粋)【一般入試・推薦入試】

【一般入試】

| | | | | |
|-----|--------------------|-----------|--|---|
| 商学部 | 新学科 | | 「公共経営学科」を開設し、現行の「商学科」との2学科体制 ※ 募集は学部単位 | |
| | 募集人員 | | 前期日程 183名 ⇒ 198名 後期日程 25名 (変更なし) | |
| 工学部 | 電子・物理工学科 | 募集人員 | 前期日程 33名 ⇒ 35名 後期日程 8名 ⇒ 6名 | |
| | 電気情報工学科 | | 前期日程 33名 ⇒ 39名 後期日程 8名 (変更なし) | |
| | 化学バイオ工学科 [後期日程] | 教科・科目 | 大学入試センター試験 | 個別学力検査 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ●「国語」⇒新規 ●「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B、簿、情報から1」 ●「化」と「物、生から1」 ●「英、独、仏、中、韓から1」 | <ul style="list-style-type: none"> ●「数学(数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B)」⇒新規 ●「論文」⇒廃止 ●「口述」 |
| | | 配点 | 国語 100点 (新規) 数学 100点 理科 100点 ⇒ 200点 外国語 100点 ⇒ 200点 | 数学 200点 (新規) 論文 100点 ⇒ 廃止 口述 100点 ⇒ 200点 |
| | 2段階選抜の倍率 | 17倍 ⇒ 10倍 | | |
| 医学部 | 医学科 [前期日程] | 出願資格 | <p>◆大阪府指定医療枠 (5名) 出身地及び出身高等学校等の所在地による出願制限なし ⇒大阪府出身者等に限る*</p> <p>*大阪府出身者等の定義 大阪府指定医療枠への出願にあたっては、以下のいずれかを満たす必要があります。</p> <p>①入学志願者の出身高等学校若しくは中等教育学校が大阪府に所在する。</p> <p>②入学志願者の現住所地在大阪府に所在する。 ただし、現住所地在3年前(平成27年4月1日)から引き続き大阪府内にある場合に限る。</p> <p>③入学志願者の保護者の現住所地在大阪府に所在する。 この場合の保護者とは父母とする。ただし、父母が居ない場合は祖父母等とする。また、保護者のいずれかが単身赴任等により現住所地在異なる場合には、どちらか一方が大阪府であれば出願できる。ただし、保護者の現住所地在は、3年前(平成27年4月1日)から引き続き、大阪府にある場合に限る。</p> <p>※上記②、③に該当する者は、住民票等の提出が必要になります。</p> <p>なお、一般枠(80名)及び地域医療枠(10名)については出身地及び出身高等学校等の所在地による出願制限はありません。</p> | |

【推薦入試】

| | | | | | |
|-------|------|-------|--|--------------|--|
| 理学部 | 生物学科 | 募集人員 | 出願資格「Ⅰ」 2名（変更なし） 出願資格「ⅠとⅡ」 3名 ⇒ 0名 出願資格「ⅠとⅡとⅢ」1名 ⇒ 4名 ＊「Ⅰ」は大阪市立の高校在籍者 「Ⅱ」は大阪市内に本人（保護者含む）住所もしくは在籍校がある 「Ⅲ」は住所や在籍校の所在地を限定しない | | |
| | | 教科・科目 | ●小論文：生物に関する基礎学力を問う ⇒ 生物に関する基礎学力を問い、論述を課す（英語の基礎学力を含む） ●口述：学習意欲、学習能力等について行う | | |
| 工学部 | 都市学科 | 出願資格 | 大阪府内の高校（職業教育学科在籍者） | 必須とする理科の履修科目 | |
| | | | 「物基、化基、生基、地基から3」 | ⇒ | 「物基」と「化基、生基、地基から1」 |
| 生活科学部 | 全学科 | 選抜方法 | 志望理由書等の内容並びに大学入試センター試験の成績を総合して選抜 | ⇒ | 志望理由書等の内容並びに大学入試センター試験の成績の 総合結果により指定した者のみ口述試験を実施 して選抜 |
| | | その他 | 国際バカロレア入試を新規導入 募集人員：若干名 | | |

※詳細については、各募集要項にてご確認ください。